

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			最低人員配置の基準以上配置している。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			計画した目標に対して、結果を振り返り、日々改善するよう努めている。
	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの事業所評価は毎年実施。意向やニーズは事業所内で共有し、業務の質の維持に努めている。
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者に適格な者がいない為、未実施。但し、行政(横浜市)による実地指導が行われ、業務改善指導があり、業務改善を実施した。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			①市内で活躍する相談支援専門員を招き、対面にて研修を実施。 ②オンラインにて、公認心理師による研修を実施。 ③作業療法士による研修を実施。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別面談の際、アセスメントを行い、内容を職員で共有している。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		保護者からの聞き取りシートを活用しており、その形式に準じてアセスメントを実施。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動のねらいを共有し、事業所内で、活動内容を検討・立案している。
	11	活動プログラムの目的を共有できているか	○			活動のねらいは事業所で共有している。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動は、保護者ニーズと、子どもの課題に合わせた活動を実施。 集団活動は、生活スキル・社会性の向上を目標に活動を実施。
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			デイリーで、ミーティングを実施。 職員配置、カリキュラム内容の確認・留意点等を職員間で共有している。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			デイリーで、ミーティングを実施。 当日の出来事、子どもの様子等を共有し、次回につなげる情報共有をしている。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			当日の様子、自由時間の様子、目標に対しての行動等、具体的な情報を記録している。
16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年おきに、保護者と面談を実施。 新たな課題や、継続的に行う支援等を判断している。	
17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			子供の最善の利益を常に考慮し、事業所で出来る支援を工夫している。	
関係機関 や保護者 との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的に児童発達支援管理責任者が参画。
	19	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		該当児がいない為、未実施。 必要性に応じて、実施していく。
	20	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当児がいない為、未実施。
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		現在、機会がないが、今後、必要に応じて情報共有をしていきたい。
	22	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。今後も継続して参加予定。
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもの送迎時や電話・メール等で、情報共有しており、共通理解を持つよう努めている。

保護者への説明責任等	24	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の面談時に説明をおこなっている。利用者負担は変更がある都度、手紙を配布し周知している。
	25	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者が気軽に相談できるように、メールや連絡ノート等のツールを活用している。また必要に応じて、電話や面談等も実施している。また、今年度より事業所内相談支援加算Ⅰも活用し、より継続性を持った、支援・情報共有を心がけている。
	26	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会は年度内に3回実施。保護者同士の連携および、知識の習得の機会としている。
	27	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		活動中のトラブルなどは、極力具体的に周知している。今後、苦情があった場合などは、適切に対応していく。
	28	定期的にHP等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		集団活動のカリキュラムを毎月配布している。また、毎月ホームページのブログで活動の様子を公開している。
	29	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付きの書庫にて個人情報は管理している。職員に対しては、雇用契約時に、情報管理についての説明を実施。
	30	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		極力、子どもに合った伝達方法を実施している。
非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		運営規定にマニュアル化したものを添付して保護者に共有している。年に1度、子どもと一緒に避難訓練を実施している。
	32	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎年8月末～9月上旬の週に実施。
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部から公認心理師を招き、虐待防止に関する研修を実施。
	34	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		他害や危険な行為が見られる等については、保護者と相談し、対応を共有し、個別支援計画へ記載している。
	35	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の指示に基づく対応がされているか	○		契約時に保護者から、受けた指示に基づき対応している。
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		デイリーのミーティングで、ヒヤリハットの洗い出しを行い、共有している。